



今年も! 署名集めています

◀今年度も国民健康保険料の引き下げを求める署名を集めます。
国保ロングラン宣伝(10/1)

「国の問題は関係ないの!?!」

今議会代表質問で「市民のいのち・暮らしが何より大切にされ未来に責任を負う岡山市政をめざして」を基本に大森市長の政治姿勢を正しました。しかし市長は、集団的自衛権、原発、沖縄米軍新基地などについては「国の専管事項」と答弁を避けました。

集団的自衛権行使容認の問題では、三重県松阪市長が憲法違反だと国を提訴する動きや総社市長が見解を示すなど、首長が市民を守る立場で意見表明しています。

それなのに市長は「個人的な考えがないわけでもありませんが、市に直接関係のないものについてはコメントを控えるし今後も答えるつもりはない」とわざわざ再答弁しました。市長の政治信念が問われます。

それでも全員学力テスト!?!

全国学力テストについて、市長は「自分の学校の正答率、市での正答率、全国での正答率、と自分の結果を比較し立ち位置を理解し切磋琢磨していくため必要」と答弁しました。

しかし現場では、事前の宿題やテストのためのテストなどで、子どもたちを点数競争に駆り立てています。全国学力テストに参加することが学校のランク付けにつながり、過剰な報道や、点数や順位に一喜一憂することが避けられません。

我が党市議団は全国学力テストの全校全員の参加をやめることを主張しました。

来年4月から子ども子育て支援新制度が施行されるのに伴い、放課後児童クラブ

の人員、設備運営基準などを定める条例が提案されました。

学童保育の運営基準が条例化されることは画期的であり、今まで有償ボランティア

学童保育 初の条例化! 希望者が入れるように 議会も応援!

日本共産党

岡山市政ニュース

発行者 日本共産党 岡山市議団
 岡山市北区大供1丁目1番1号 (市議会内)
 〒700-8544 電話(086) 803-1707

河田正一 一恵潤
 竹永光 中のぞみ
 林田中つよし

No.262 (通270)

まちづくり

路面電車

路面電車の岡山駅前乗り入れ計画について検討が始まっています。①平面乗り入れ案②高架乗り入れ案③地下乗り入れ案④歩行者デッキ連結案の4案があり、年末までには1、2案に絞り込む予定です。高架や地下の場合には西川近くから線路の変更が必要となります。駅地下街の耐久性や、費用は、次回の検討会に示される予定です。わずか100mの延伸に莫大

アイデアだった指導員が支援員として位置づけられるなど前進面もあります。しかし市の独自基準が若干入ったものの、支援員の資格の基準や研修の基準などは最低基準であり、十分な内容も残りました。また児童が健やかに育つ環境としての面積も今までより拡大されず、「児童一人につきおおむね1.65㎡以上の専用区画を設けるように努めること」という経過措置となりました。来年度から6年生までの受け入れが可能になることや、現

市役所前駐車場の有料化

市庁舎前の公用駐車場(80台)をイオンモール開業のため土日を有料化することを賛成多数で決めました。わが党は次の理由で反対しました。混雑解消のためには土日、休日にはガラガラで300台分の鹿田駐車場の活用を優先すべきです。こちらを放置したまま新たなゲートシステムに千百万円もお金をかけることは理解できません。

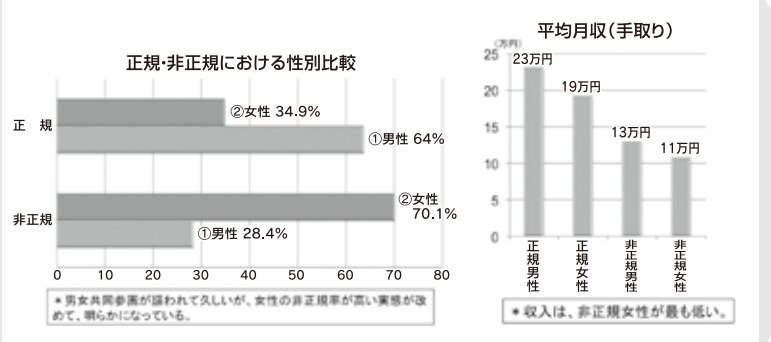
在使っている施設も老朽化等の問題もあるなかで、施設整備は急務の課題です。保健福祉委員会では、超党派の委員から「希望者がみんな入ることができるよう市としても責任をもつて環境整備をしてほしい」との意見がありました。そこで「放課後児童クラブに入室できる児童の対象が6年生まで拡大したことともない、学校等の既存公共施設を積極的に活用するなど各種方策に鋭意取り組み」という付帯決議が全会一致で付きました。

岡山のブラック企業におしおきよ! part 2

雇用形態と性別、収入を聞いたところ、次のような特徴がありました。

- ・正規雇用は男性が多く、非正規は女性が多い。
- ・収入は高い方から正規の男性、正規の女性、非正規の男性、非正規の女性の順。

正規と非正規での収入の格差だけでなく、男性と女性の格差が読み取れました。男女共同参画が謳われていても女性が非正規・低収入に置かれている実態があります。



リスクは住民に?! 防犯カメラ

市は町内会等の住民組織が防犯カメラを設置する際に9割、上限30万円の補助をする制度を作りました。予算は600万円で最大20台分です。

子どもが被害にあう事件などによる社会不安の高まりで防犯カメラ設置について要望はあります。

どうなるの? 介護保険!

国により来年4月から介護保険制度が大幅に改悪されます。要支援1、2の軽度者が訪問事業、通所事業の介護サービスから外され、市が行う総合事業に来年度からの3年間で移行されます。

地域の社会資源など受け皿を調査中であること、国からも何も示されていないことを理由に具体的な答弁がありませんでした。制度変更を目前にしてもこういう実態というのは無責任です。

そのほか大幅に変わるのは、特別養護老人ホームの入居要件が原則要介護3以上となること、年金額の多い方が2割負担になることです。保険料も値上げが予定されています。

現在、市は保健福祉政策審議会で第6期計画を議論しており、新制度の具体案にもとづいた詳細と保険料の案を来年の1月ごろに示すとしています。

サービスを落とさず、利用料負担も増えないように、総合事業の受け皿として現在介護保険で通所・訪問介護事業を行っている事業者も委託先にすること、送迎も引き続きできるようにすること、包括支援センターのケアマネージャーの増員などを計画に盛り込むよう要望しました。

一方で、公園や道路に設置したら、犯罪とは関係ない地域住民のプライバシー被害が映ります。それをいつ誰が見て、いつまで保存するのか、について市は定めようとしません。

今回の市のやり方は個人情報管理の責任、情報が不正に利用された際の訴訟リスクや設置に係る交渉などをすべて住民組織に押しつけてしまうものです。

町内会等が防犯カメラを安心して設置・運用できるルールがなく認められないと、党市議団は反対しました。

これでいいのか、子育て支援 子ども子育て新制度の条例案に反対

来年4月から施行される子ども子育て新制度に関連する4つの条例案に反対しました。

①岡山市がおし進めている幼保連携型認定こども園は、自治体の保育の責任を後退させる施設であり、保育に様々な格差を持ち込みます。保留児解消にもつながりません。安心できる認可保育園こそ増やすべきです。

②新制度では、小規模保育・家庭的保育・居宅訪問型保育(ベビシッター)等が新たに導入され、無資格者の保育が大幅に拡大されます。保育の死亡事故が多発する中、他都市では無資格者を認めない事例があります。岡山市の姿勢が問われます。

今何よりも求められているのは、保留児解消です。また、公立幼稚園では保護者の7割が3歳児保育や延長保育を希望しています。保護者の切実な願いに正面から向き合う事こそ、子育て支援の原点ではないでしょうか。

食い違う集団的自衛権の議論

9月議会に出された陳情「憲法解釈変更の閣議決定の撤回を求める意見書の提出について」は不採択になりました。賛成したのは共産党、市民ネット、明政クラブ(一人除く)です。

委員会では自民党・無所属の会の議員が「憲法の解

釈変更は何度も行われてきた」と反対した一方、公明党の反対理由は「憲法解釈の変更ではない」というものでした。集団的自衛権容認の閣議決定は、自民党と公明党の与党協議を経て行われたのですが、認識はバラバラのようです。

図書館建設を求める陳情採択!

中区に図書館建設を求める陳情が賛成多数で採択されました。自民・無所属の会と明政クラブは、実現の確証がないとして採択に反

対しました。この土地は図書館用地として市が16年前に購入しており、これ以上先延ばしにするべきではありません。

	日本共産党	自民党・無所属の会	公明党	新風会	市民ネット	明政クラブ	結果
憲法解釈変更の閣議決定の撤回を求める陳情	○	×	×	×	○	△※	不採択
中区に図書館設置を求める陳情	○	×	○	○	○	×	採択

○…賛成 ×…反対 ※一人を除いて賛成

市政報告会

- 10月18日(土) 午後2時 東区報告会 百花プラザ
- 10月19日(日) 午後2時 北区報告会 岡輝公民館
- 11月8日(土) 午後2時 南区報告会 西ふれあいセンター
- 11月9日(日) 午前10時 北区報告会 半田山植物園
- 11月15日(土) 午前10時 中区報告会 高島公民館

市民の意見を聴く会

- 11月14日(金) 午後1時30分 市役所内

11月議会日程(予定)

- 11月25日(火) 常任委員会
- 11月27日(木) 開会日
- 12月3日(水) 9日(火) 個人質問
- 10日(水) 個人質問予備日
- 11日(木) 常任委員会
- 16日(火) 閉会日

編集後記

今議会の「中区に図書館を」という陳情審査で、一部保守系会派が当局のできないと言っているものを採択すべきではないという論法で「採択」に執拗に反対しました。しかし、陳情は「願い」を実現してもらいたいという市民から出される声です。道理のあるものなら当局に遠慮することなく議会が判断すべきものです。市長や当局の意向ばかりを気にして、市民の願いに背を向ける態度は、議会の二元代表制を否定するものではありませんか。